

「自己を見つめる」

を重点とした道徳科の授業づくり

第5学年 道徳科学習指導案

- 1 **主題名**「権利の主張」（内容項目：C-12 遵法精神、公德心）
- 2 **教材名**「遊園地のできごとから」（「新編 新しい道徳」東京書籍）
- 3 **主題設定の理由**

自分の実生活の場面において、自分の権利と他者の権利が生じていることについて考えられるようにする。特に対話の中で、自分の考えと友達の考えを比べながら、価値項目についての理解を深められるようにしていきたい。

学級の間関係は良好で、誰とでも対話することができる素地ができている。普段の道徳の授業においても相手と活発に交流する様子が見られる。高学年ではあるが、まだ幼い部分もあり、日常生活の中では、他の人の権利より自分の権利を優先して考えている場面も見られる。本時をきっかけにして児童の日常生活の行動を見直すきっかけにもつなげていきたい。

本題材は、遊園地に遊びに来た「わたし」だが、他のお客さんが肩車をしたことでショーが見えなくなってしまった。お客さんは係員に注意をされたが、それでは、自分の子どもがショーを見られなくなると主張した。自分の権利だけ主張し、他人の権利を侵害してしまうという教材である。

4 本時のねらい

権利や義務の観点から自分や相手の行動などについて考えを深め、互いの権利を尊重していこうとする道徳的心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 課題の焦点化をすることで、児童が自分事と捉え、児童にとって学びあう必要性のある課題を設定した。
- ② 展開において、教科書の話や、日常生活の場面で権利同士がぶつかりあった時、相手の権利も尊重することが大切になってくると対話を通気付けるような板書の工夫を行った。
- ③ 「学んだこと」や「自分や友達の学び方」についてのふり返りを工夫することで、自分の権利ばかりの主張ではなく、他の人にも権利があること理解し、権利について考えを深めた。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導入	<p>1 権利と義務の意味を確認する</p> <p>□権利：ある物事をしてよい、またはしないでよいという資格のこと</p> <p>□義務：法律上または道徳上、人や団体がしなくてはならない、また、してはならないこと。</p> <p>○ 権利と義務の意味からお互いの気持ちを考えよう。</p> <p>2 教材を範読する</p>	<p>※ 範読は P117 まで</p>
展開	<p>○ わたしと肩車をするお父さんの気持ちを考えよう。</p> <p>3 発問について考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたし：ショーが見えない。 ・お父さん：肩車をしないと自分の子どもがショーを見られない。 <p>4 残りの教材を範読する</p> <p>□どちらの意見に共感できるかを考え、わたしと肩車をする2つの立場に分かれて対話する。</p> <p>○ みなさんだったらどう行動しますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーが見えなくても我慢する。 ・肩車してショーを見ると他の人が見られなくなるから、肩車はあきらめる。 ・抱っこをするなどして、人の迷惑にならないように配慮する。 ・人がいない後ろで肩車をする。 <p>○ グループで自分の権利を主張することで起こってしまう被害についても実生活の例をもとに考えてみる。</p>	<p>※ペア学習を行う（30 秒）</p> <p>◇相手の意見を聞くことで、自分の意見を持ち、自信をもって発言することができる。</p> <p>※肩車をしたことでショーが見えなくなってしまったわたしと、肩車をして子どもにショーを見せてあげようかと思った両方の気持ちを考えられるようにする。</p> <p>※子どもたちが言った言葉をつなぐ。板書する。</p> <p>※途中で気が付いたことや、友達の考えから深まったことなどをメモするように声をかける。</p> <p>※ショーを見る権利の他に、ほかの人が迷惑しないように行動する義務も発生していることを押さえられるようにする。</p> <p>※自分の考えとは別に、ディベート風で両者の思い、気持ちに対話を通して気づく。</p>
終末	<p>5 まとめ</p> <p>○ 権利同士がぶつかり合う時、どうしたらよいと思いますか。</p> <p>□自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>○ 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の権利も認めてあげる。 ・自分の意見だけを主張しない。 	<p>◇権利や義務の観点から自分や相手の行動などについて考えを深め、おいの権利を尊重していこうとする考えが書かれているか。</p>

【板書計画】

お客さんの気持ち

わたし
ショーが見えない

おたがいの権利がぶつかり合っている

お父さん
肩車をしないと自分の子どもがショーを見られない

みなさんだったらどう行動する？

○ショーが見えなくてもがまんをする。
○肩車することはあきらめる。
○だっこをするなどして、他のお客さんのめいわくにならない方法を考える。
○人がいない後ろで肩車をする。

ワークシート

名前

教科書の挿絵
を使用

教科書の挿
絵を使用

①

②

～メモやふり返し～
○学習の中で考えたこと ○友達との対話の中で共感したこと・いわ感があるところ
○考えが変わったこと ○今までの自分とこれからの自分 ○もやもやしている部分